

社会復帰促進就労支援シンポジウム

社会復帰を目指す刑務所出所者等の多くは、前歴が故に社会から排除されやすいこと等から就労機会が制約され、就職が困難な状況にあります。

このシンポジウムでは、刑務所等の出所者の雇用の重要性について、地域事業者、県民の皆様とともに考えたいと思います。

多くの方の参加をお待ちしています。

(参加には事前のお申し込みが必要です)

日 時

平成27年7月26日(日) 午後2時～
(午後1時30分開場)

入場
無料

場 所

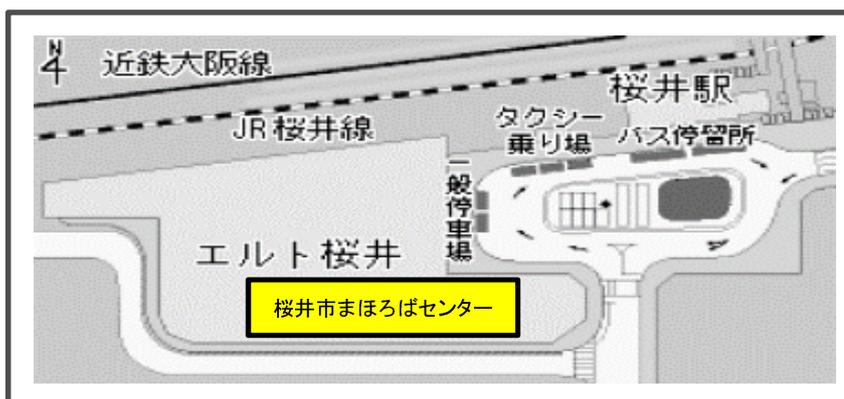
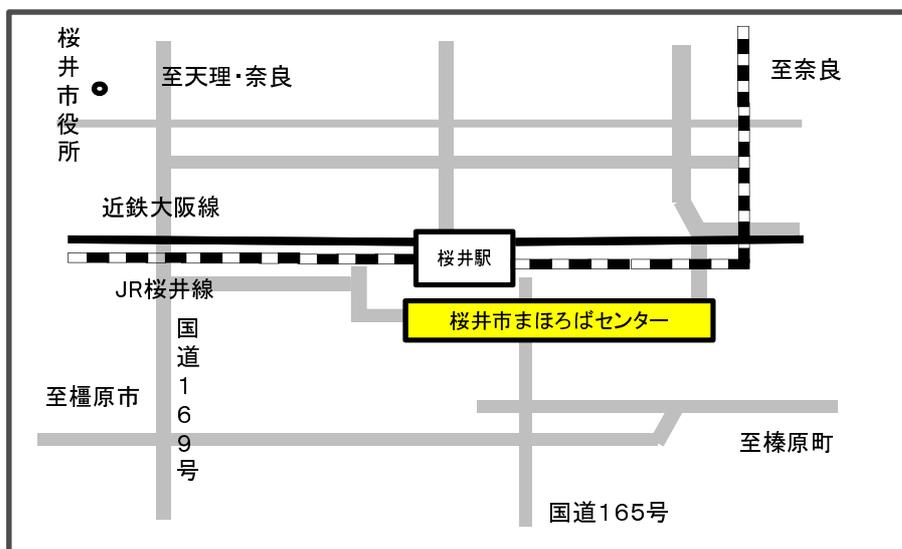
桜井市まほろばセンター 多目的ホール
(桜井市)

できる限り、公共交通機関をご利用ください。

JRをご利用の場合
JR桜井線桜井駅で下車し、徒歩1分程度。

近鉄をご利用の場合
近鉄大阪線から桜井駅で下車し、徒歩1分程度。

自家用車をご利用の場合
JR桜井線・近鉄大阪線(桜井駅南口)エルト桜井2階(エルト桜井駐車場は有料。)



主催: 奈良県

後援: 奈良保護観察所、奈良労働局

パネリストのプロフィール

本田 恵子氏(ほんだ けいこ)



早稲田大学教授。専門は、アンガーマネジメント・特別支援教育。教員経験から学校カウンセリングの必要性を感じて渡米。帰国後、家庭・学校・地域が連携して子ども達を支援する包括的スクールカウンセリングを展開。現在、法務省の委託を受け、保護観察、矯正施設内におけるアンガーマネジメントプログラムを立案・実施している。奈良県社会復帰促進就労支援懇談会座長。

草刈 健太郎氏(くさかり けんたろう)



カンサイ建装工業(株)代表取締役。元受刑者の更生を支援するため、矯正施設からの出所と同時に約半年間の就労体験をさせ、正規雇用につなげることを目指す「職親プロジェクト」に参加。親族が犯罪被害者であることから、「被害者の気持ちが分かるからこそ、犯罪の芽を一つでも多く摘み取ることで新たな被害者・加害者が生まれないようにしたい」という思いで活動されている。

山川 敦氏(やまかわ あつし)

株式会社ヒューマンハーバーの副社長として、ユヌス・ソーシャル・ビジネスの理念に基づき『再犯のない社会づくり』を三位一体の取り組みで実現するため、経営の中心となって精力的に活動。出所者への教育の大切さを訴え、基礎教育から生活力を伸ばす教育までを提供し、出所者との対話を大切に寄り添った支援を続けている。「職親プロジェクト」に参加。

※ユヌス・ソーシャル・ビジネス

利益の最大化を追求する以上に、社会問題の解決を第一の目的としたビジネスモデル。

プログラム

- 13:30～ 開場(受付開始)
- 14:00～ 開会、知事挨拶
- 14:10～ パネルディスカッション(前半)
テーマ「刑務所出所者等のはたらく場所をつくりだすために」
- 15:00～ 休憩(会場から質問票を受付)
- 15:15～ パネルディスカッション(後半)
会場から受け付けた質問票をもとに議論
- 16:00 閉会

申込方法

氏名、年齢、居住市町村名とともに、社会復帰促進就労支援シンポジウム参加希望とご記入いただき、FaxまたはE-mailでお申し込みください。定員:150人(先着順)。

Fax:0742-27-2319 e-mail:koyo@office.pref.nara.lg.jp

(お問い合わせは県雇用労政課(0742-27-8832)までお願いします。)